

BACKUP TAPE STORAGE UNIT

テープバックアップ装置・ ユーザーズマニュアル

LTB-V160GAK

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	6
第1章 製品のご紹介	7
1.1 製品の概要	7
1.2 使用環境について	8
1.3 各部の名称と機能	9
第2章 接続について	10
2.1 接続の前に	10
2.2 接続の手順	12
第3章 接続後の作業	15
3.1 Windows Server 2003 の場合	15
3.2 Windows XP の場合	18
3.3 Windows 2000 の場合	21
3.4 Windows NT の場合	24
第4章 操作方法	27
4.1 データカートリッジの書込み防止	27
4.2 データカートリッジのセット	27
4.3 データカートリッジの取り出し	28
4.4 ランプ表示について	29
4.5 ヘッドのクリーニングについて	30
第5章 補足事項	31
5.1 トラブルシューティング	31
5.2 オプション品について	34
ハードウェア仕様	35

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

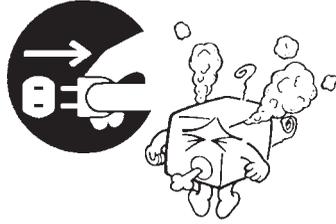


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

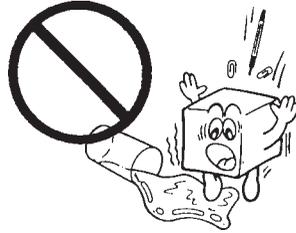
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

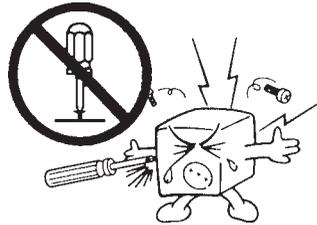
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

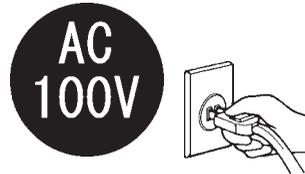
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で

使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



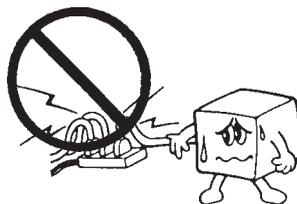
電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

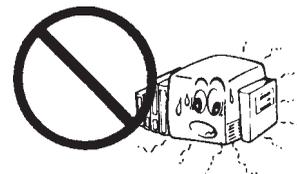
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



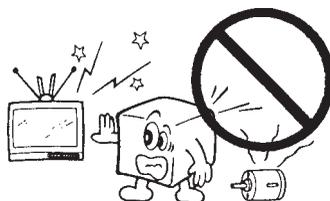
高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

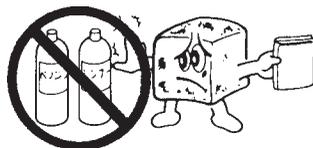


ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

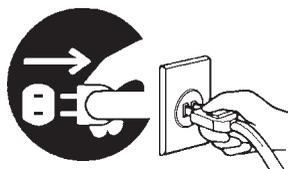


⚠ 注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



ごあいさつ

この度は弊社テープバックアップユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はテープバックアップユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社テープバックアップユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、
項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第 1 章 製品のご紹介

1 . 1 製品の概要

本シリーズは、8mm テープと同じ大きさのメディアである「VXA」を使用した、テープバックアップユニットです。V23 (230m) テープカートリッジ使用により、最大 160GB のファイルをバックアップすることができます。

本製品の特徴

最新の技術を使った VXA-2 規格のドライブです。パケットライティング・多重スキャン・可変速度制御によりリードミス・ライトミスを防ぎます。

非圧縮時 6MB/s、圧縮時 12MB/s でデータ転送が可能です。

WIDE Ultra2 SCSI に対応した、外付け据え置き型テープバックアップユニットです。サーバーに限らず、大容量データのバックアップに気軽にお使いになれます。

各 OS に付属のバックアップソフトウェア (注) に対応しています。また、以下のバックアップソフトウェアでも使用可能です。

ソフトウェア名	開発元
Dantz Retrospect	Dantz
Backup Exec 8.x	ベリタスソフトウェア

注 : Windows XP Home Edition を除く

1 . 2 使用環境について

接続可能なパソコン

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべて SCSI インターフェースを標準搭載しているか、SCSI インターフェイスボードを接続可能な機種に限定されます。SCSI インターフェースの接続は次ページの注意事項をご参照ください。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ



ご注意

発売されているすべての機種で動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることは、あらかじめご承知おきください。

対応 OS

本製品が対応する OS は以下の通りです。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows Server 2003
Windows XP Home Edition/Professional
Windows 2000 Professional / Server
Windows NT 4.0 Workstation / Server



ポイント

本製品の最新の対応情報は弊社ホームページまたはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

1.3 各部の名称と機能

本製品背面

ジャンプスイッチ

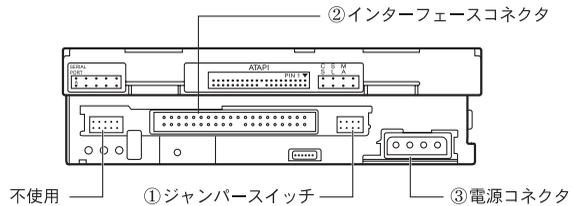
製品の動作モードを設定するスイッチです。詳細については「接続の前に」をご参照ください。

インターフェースコネクタ

付属のフラットケーブルでパソコン本体のE-IDEコネクタと接続します。

電源コネクタ

パソコン本体の内部電源ケーブルを接続します。



本製品前面

カートリッジ挿入口

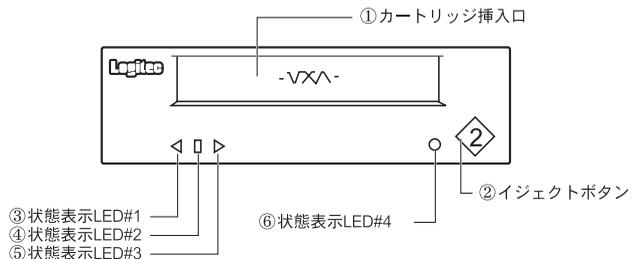
テープカートリッジをセットする部分です。

イジェクトボタン

セットしたテープカートリッジを取り出すときに押すボタンです。

～ 状態表示 LED #1 ~ 4

ドライブの稼動状態を表示します。電源を ON にした時に、テストのため全ての LED が順番に点灯します。



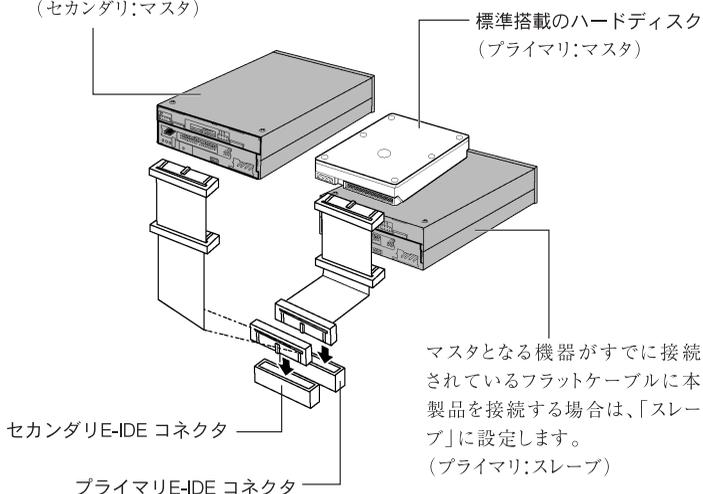
第2章 接続について

2.1 接続の前に

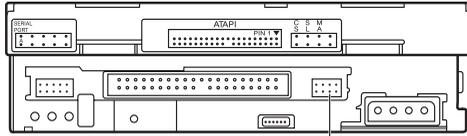
本製品を接続する前に、背面のジャンプスイッチで本製品の動作モード（マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト）を設定してください。

本製品のような ATAPI (E-IDE) 対応機器は、1つの ATAPI (E-IDE) コネクタに2台まで設定できますが、その場合、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければなりません。ATAPI (E-IDE) コネクタが2つ（プライマリ/セカンダリ）ある場合は、マスタ/スレーブの組み合わせを2組、合計4台までの機器を接続できます。

フラットケーブルに本製品のみを接続する場合は、「マスタ」に設定します。
(セカンダリ:マスタ)



動作モードの設定は下図のように背面のジャンパースイッチで行います。接続する環境に合わせてマスタ/スレーブ/ケーブルセレクトに設定してください。



ジャンパースイッチ

	本製品のみを接続する場合もしくは、2台接続でマスタとして使用する場合(出荷時設定)
	2台接続でスレーブとして使用する場合
	ケーブルセレクトで使用する場合(参考)

=ジャンパープラグあり =ジャンパープラグなし



ご注意

「ケーブルセレクト」は専用ケーブルを使用することによって、動作モードを自動設定する規格です。

「ケーブルセレクト」はパソコン本体がこの規格に対応していないと使用できません。そのため、パソコン本体のマニュアルで「ATAPI (E-IDE) 機器をケーブルセレクトに設定する」と指定されている場合のみ、この設定にしてください。

この設定を行った場合、本製品付属のフラットケーブルは使用できません。専用ケーブルを別途用意する必要があります。

2 . 2 接続の手順

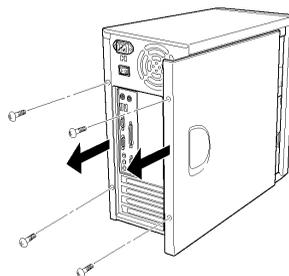
接続は以下の手順で行いますが、詳細についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。また、パソコン本体によって取り付けに特殊な金具が必要な機種もありますので、あらかじめパソコン本体の取扱説明書で確認してください。



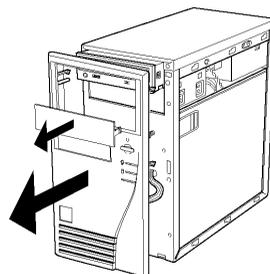
重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続された全ての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると、電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

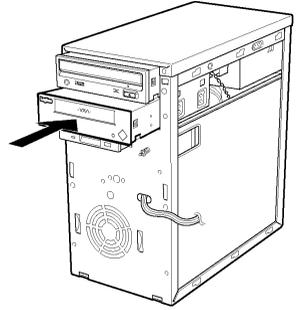
パソコン本体のカバーを取り外します。右のイラストは一例です。取り外し方法についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。



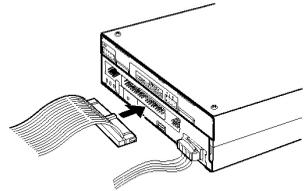
フロントパネルを外し、そこに取り付けられた5インチベイのカバーを取り外してください。



本製品を5インチベイに挿入します。完全に挿入してしまうと、次の作業(手順 ~)がやりにくくなりますので、半分くらい挿入した状態で次の作業を行ってください。(まだ、この段階ではネジ止めしません。)

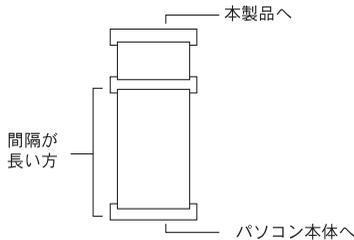


パソコン本体の内部電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。このコネクタは正しい方向でしか接続できない形状になっています。

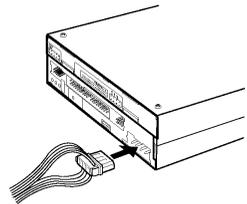


パソコン本体内部のATAPI (E-IDE) コネクタ (プライマリ) に接続されたフラットケーブルに余っているコネクタがある場合は、それを本製品のインターフェースコネクタに接続します。(プライマリ : スレーブとして接続)

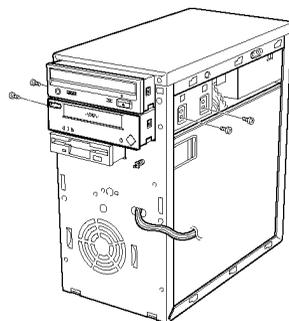
余っているコネクタがない場合は、本製品付属のフラットケーブルでATAPI (E-IDE) コネクタ (セカンダリ) と本製品のインターフェースコネクタを接続してください。(セカンダリ : マスタとして接続)



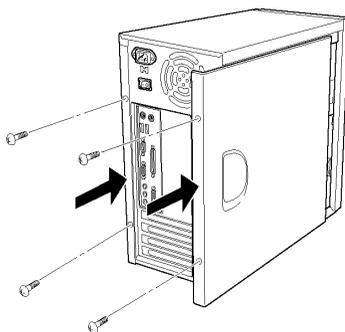
<付属フラットケーブルの使い方>



本製品を完全に挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横からとめます。



ケーブルなどを挟み込まないように注意して、パソコン本体のフロントパネルとカバーを取り付け、ネジで固定します。



以上で接続は終了です。

第3章 接続後の作業

本章では、本製品用のドライバをインストールする手順について、各OSごとに説明いたします。ここでご説明する手順はすべて本製品がご使用のパソコンに接続されていることを前提としております。まだ、本製品を接続されていない場合は第2章を参照して本製品の接続を行ってください。

！ ご注意

ドライバインストールの際は、いずれのOSの場合も管理者権限のあるユーザーでログインしている必要があります。

3.1 Windows Server 2003 の場合

ここでは、Windows Server 2003 が既にインストールされている環境に、「LTB-V160GAK」を新規に接続した場合のドライバのインストール手順を説明します。

3

本製品接続後、パソコンの電源を ON にして、Windows Server 2003 を起動してください。

「スタート」メニューをクリックして、「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるサブメニューから「管理」をクリックしてください。

「コンピュータの管理」ウィンドウで「デバイス マネージャ」をクリックし、「その他のデバイス」にある「EXABYTE VX A-2a」をダブルクリックしてください。

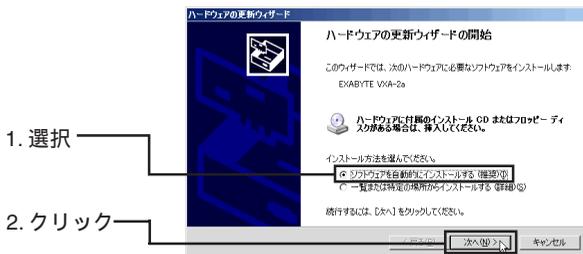


「EXABYTE VXA-2aのプロパティ」が表示されますので、「全般」にある「ドライバの再インストール」ボタンをクリックしてください。



「ハードウェアの更新ウィザードの開始」と表示されますので、「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」が「ON ()」になっていることを確認して「LTB-V160 シリーズ ドライバ」と書かれたCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

3



以下のようなウィンドウが表示されたら「続行」ボタンをクリックしてください。



参考

Windows ロゴが取得されていない場合に警告メッセージが表示されますが、ロジテック株式会社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows Server 2003 上で正常に動作することを確認して提供しております。

ドライバファイルのコピーが行なわれ終了すると、「ハードウェア更新ウィザードの完了」と表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

クリック



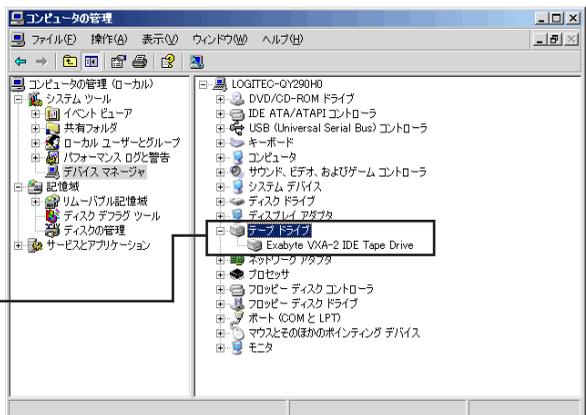
「Exabyte VXA-2 IDE Tape Driveのプロパティ」が表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

クリック



「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「テープドライブ」をダブルクリックします。「Exabyte VXA-2 IDE Tape Drive」が表示されることを確認してください。

確認



確認後、「コンピュータの管理」のウィンドウを閉じてください。以上でドライバのインストールは完了しました。CD-ROM を取り出しておいてください。

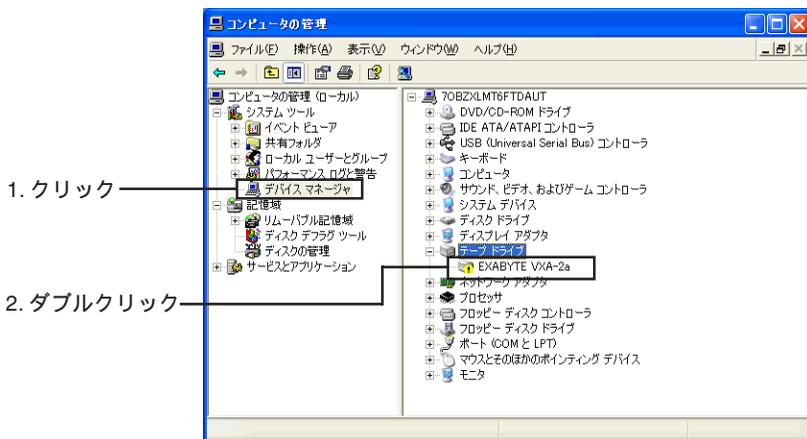
3

3.2 Windows XP の場合

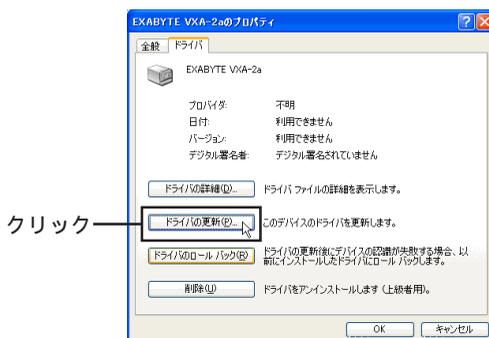
本製品接続後、パソコンの電源を ON にして、Windows XP を起動してください。

「スタート」メニューをクリックして、「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるサブメニューから「管理」をクリックしてください。

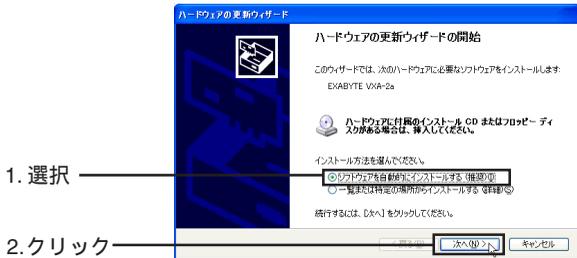
「コンピュータの管理」ウィンドウで「デバイス マネージャ」をクリックし、「テープドライブ」にある「EXABYTE VXA-2a」をダブルクリックしてください。



「EXABYTE VXA-2aのプロパティ」が表示されますので、「ドライバ」にある「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。

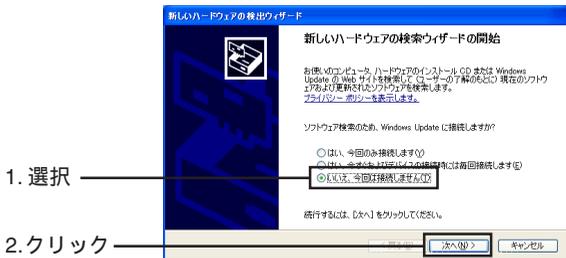


「ハードウェアの更新ウィザードの開始」と表示されますので、「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」が「ON()」になっていることを確認して「LTB-V160 シリーズ ドライバ」と書かれた CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。



Windows XP サービスパック 2 の場合、「いいえ、今回は接続しません」が「ON()」になっていることを確認して「LTB-V160 シリーズ ドライバ」と書かれた CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。セットしたら「次へ」ボタンをクリックしてください。

3



以下のようなウィンドウが表示されましたら「続行」ボタンをクリックしてください。



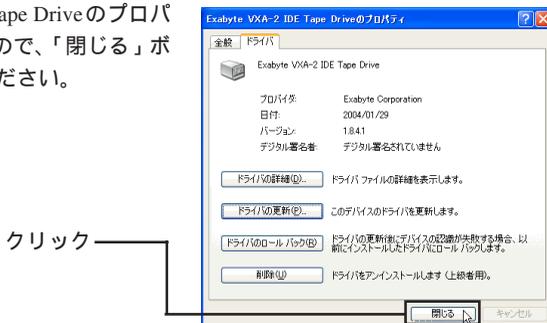
参考

Windows ロゴが取得されていない場合に警告メッセージが表示されますが、ロジテック株式会社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows Server 2003 上で正常に動作することを確認して提供しております。

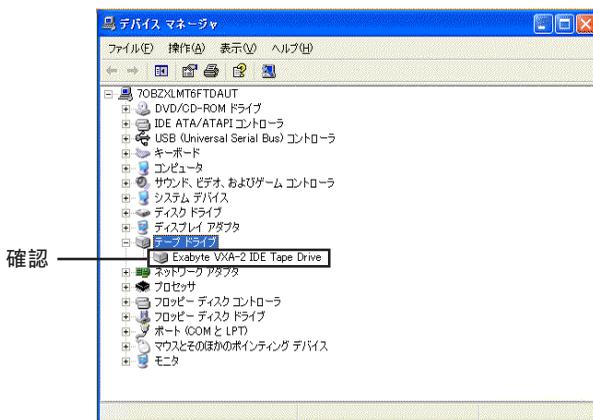
ドライバファイルのコピーが行なわれ、終了すると、「ハードウェア更新ウィザードの完了」と表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



「Exabyte VXA-2 IDE Tape Driveのプロパティ」が表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「テープドライブ」をダブルクリックします。「Exabyte VXA-2 IDE Tape Drive」が表示されることを確認してください。

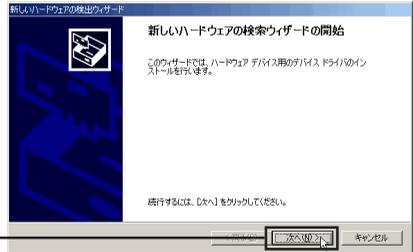


確認後、「コンピュータの管理」のウィンドウを閉じてください。

以上でドライバのインストールは完了しました。CD-ROMを取り出しておいてください。

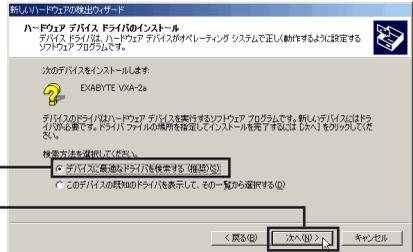
3.3 Windows 2000 の場合

本製品接続後、パソコンの電源をONにして、Windows 2000を起動してください。「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

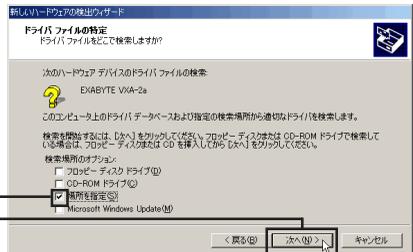


「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」のウィンドウが表示されますので、「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」が「ON()」になっていることを確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。

3

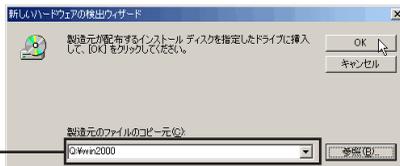


「ドライバファイルの特定」と表示されますので、「検索場所のオプション」で「場所を指定」のチェックボックスのみをチェックして(それ以外のチェックボックスはチェックを外してください。) 「次へ」ボタンをクリックしてください。



「製造元のファイルのコピー元」のテキストボックスに、ドライバが保存されているフォルダのパス名を以下のように入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

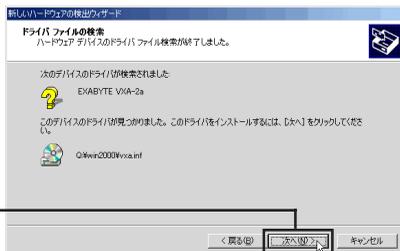
パス名： Q:¥WIN2000



Point ポイント

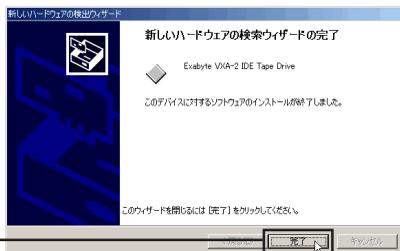
ここでドライブ名「Q:」は、CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は、正しいドライブ名を指定してください。

「ドライバファイルの検索」と表示されますので、「このデバイスのドライブが見つかりました。このドライバをインストールするには、[次へ]をクリックしてください。」の下に「Q:¥win2000¥vxa.inf」と表示されたことを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。



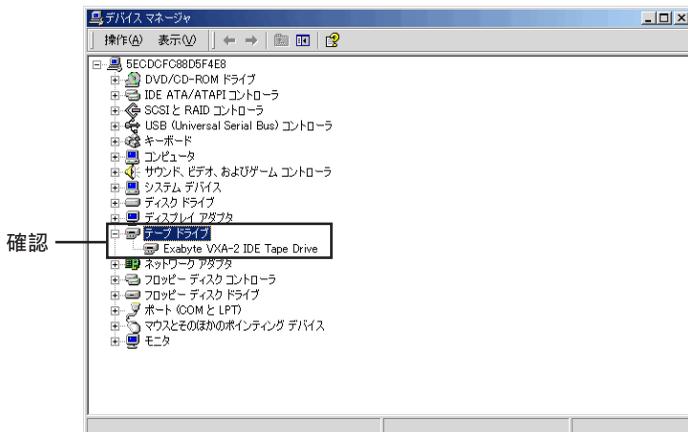
クリック

必要なファイルがコピーされます。コピーが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示され、「このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。」と表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



クリック

再度「デバイスマネージャ」のウィンドウを表示させ、一覧の中から「テープドライブ」をダブルクリックして、「Exabyte VXA-2 IDE Tape Drive」が表示されることを確認してください。



確認後、「デバイスマネージャ」のウィンドウを閉じてください。
以上でドライバのインストールは完了しました。CD-ROM を取り出しておいてください。

3 . 4 Windows NT の場合

本製品接続後、LTB-V160 シリーズ本体 パソコン本体の順番で電源を ON にして、Windows NT 4.0 を起動してください。

「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックして、「コントロール パネル」アイコンをダブルクリックしてください。

「テープデバイス」アイコンをダブルクリックしてください。



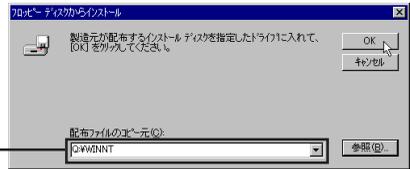
ドライバの検出が行われた後、「ドライバのインストール」のウィンドウが表示されますので、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。



「フロッピーディスクからインストール」と表示されますので、「LTB-V160 シリーズ ドライバ」と書かれた CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

「製造元のファイルのコピー元」のテキストボックスに、ドライバが保存されているフォルダのパス名を以下のように入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

パス名： Q:¥WIN2000



Point ポイント

ここでドライブ名「Q:」は、CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は、正しいドライブ名を指定してください。

「ドライバーのインストール」と表示されます。「EXABYTE VXA series tape drive」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

3



「新しい SCSI テープデバイスが見つかりました」と表示されます。本製品は ATAPI デバイスですが、ドライバのインストールの際はこのようなメッセージが表示されず。特に問題はありませので、そのまま「OK」ボタンをクリックしてください。



ドライバのインストールが行われ、「テープデバイス」のウインドウに戻ります。「テープデバイスは次のとおりです。」に「EXABYTE VXA-2a (ドライバは読み込まれました)」と表示されていればドライバのインストールは完了です。「OK」ボタンをクリックしてウインドウを閉じてください。



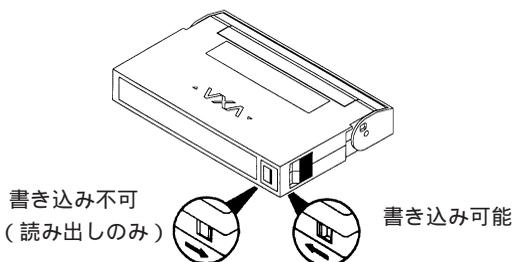
以上でドライバのインストールは完了しました。CD-ROMを取り出しておいてください。この後、テープドライブ装置が正常に動作することを確認してください。

第4章 操作方法

4.1 データカートリッジの書き込み防止

データカートリッジには誤った書き込みを防ぐために、書き込み防止タブが備えられています。

書き込み防止タブは、ボールペンまたはその他の適切な道具を使って移動させることができます。データカートリッジへの書き込みを防ぐには、カートリッジの後ろにある防止タブをスライドして、穴が見えるようにします。この状態にすると、データカートリッジからの読み出しのみ可能となり、書き込みはできなくなります。



4.2 データカートリッジのセット

データカートリッジのセットは以下の手順で行います。

データカートリッジの書き込み防止タブが、正しくセットされているかどうかを確認します。

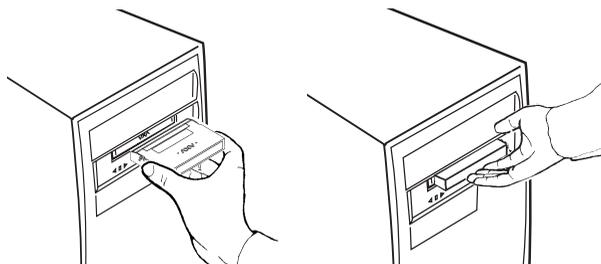
データカートリッジのラベルを貼る面を上にして、データカートリッジを本装置のカートリッジ挿入口に挿入します。

ある程度まで挿入するとデータカートリッジは自動的に引き込まれ、ローディング後、表示 LED#2 がグリーンに点灯します。

4.2 データカートリッジのセット

カートリッジラベルは少しくぼんだラベルエリアに確実に貼り付けてください。メカ機構でカートリッジが引っかからないように、以下の事項を守ってください。

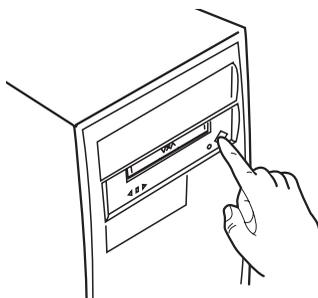
- ラベルが剥がれていないこと
- ラベルエリアにラベルのみ貼ること
- ラベルの上から新たにラベルを重ね貼りしないこと



4.3 データカートリッジの取り出し

データカートリッジの取り出しは以下の手順で行います。

本装置の取り出しボタンを押します。テープのアンロード動作が開始されると、表示LED#2がグリーンに点滅します。アンローディングが正常に終了すると、データカートリッジは自動的に排出され、LED#2は消灯します。取り出したデータカートリッジはテープに入れて保管します。

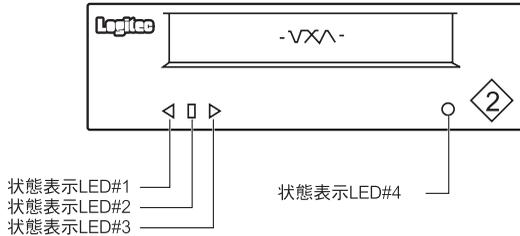


ご注意

電源スイッチを切る場合は、必ず取り出しボタンを押してデータカートリッジを取り出してから切ってください。

4.4 ランプ表示について

本装置には4つの状態表示LEDがあり、ドライブの動作により次表のように点灯・点滅します。



操作	LED 1	LED 2	LED 3	LED 4
Power On Self Test	*1 参照	*1 参照	*1 参照	*1 参照
カートリッジが入っていない状態でのレディ	消灯	消灯	消灯	グリーン
インターフェースアクティブ *2	消灯	消灯	消灯	グリーン点滅
カートリッジのロードアンロード	消灯	グリーン点滅	消灯	消灯
カートリッジが入っている状態でのレディ	消灯	グリーン点灯	消灯	消灯
リード	消灯	消灯	グリーン	グリーン点滅
ライト	消灯	消灯	黄色	グリーン点滅
スペースフォワード	消灯	消灯	グリーン点滅	消灯
スペースリバース & リワインド	グリーン点滅	消灯	消灯	消灯
クリーニング中	グリーン点滅	消灯	グリーン点滅	消灯
クリーニング要求 (クリーニングカートリッジを使用してください)	消灯	黄色点滅	消灯	消灯
クリーニングカートリッジ交換 (新しいクリーニングカートリッジを使用してください)	消灯	オレンジ & グリーン点滅	消灯	消灯
回復可能なエラー *3	黄色	グリーン	黄色	グリーンまたは消灯
回復不可能なエラー *4	黄色	消灯	黄色	グリーンまたは消灯
ハードエラーです。 お買い求めの販売店に 修理を依頼してください。 *5	グリーンまたは黄色点滅			レッド点滅
テープカートリッジ故障 *6	黄色 & グリーン点滅	消灯	黄色 & グリーン点滅	グリーン
環境温度仕様オーバー *7	消灯	消灯	消灯	オレンジ点滅

- *1 オレンジ&グリーン(LED)が右から左、左から右へ順にスクロールします。LED#4はレッド&グリーンに点灯します。このテストが終わると、LED#4はグリーンに点灯します。
- *2 LED4は他のLEDと連動して点滅します。
- *3 回復可能なエラーです。操作を再度実行してください。
- *4 この状態では回復不可能なエラーです。電源を再投入して、操作を再度実行してください。
- *5 復旧不可能なハードエラーです。ドライブを修理する必要があります。
- *6 カートリッジ自身の障害です。カートリッジを交換して、操作を再度実行してください。
- *7 ドライブ内部のカートリッジパス温度が温度制限47°を超えました。周辺の温度を低くして、操作を再度実行してください。

4.5 ヘッドのクリーニングについて

本装置はデータの書き込み、読み出しを磁気ヘッドで行っています。

ヘッドがほこりやゴミなどで汚れると、データの書き込み・読み出しが正常に行われないことがあります。ヘッドに汚れがこびり付くと、永久的に使用できなくなります。このようなことを未然に防ぐために、クリーニングカートリッジによる定期的なクリーニングを必ず行ってください。

また、以下の場合には必ずクリーニングを行ってください。

本装置の使用時間が70時間ごとに1回の割合でクリーニングしてください。クリーニングが必要になると、カートリッジ排出時に表示LED#2がオレンジ色に点滅します。なお、クリーニング後にオレンジ&グリーン点灯した場合は、クリーニングカートリッジが使用限界に達しているため、新品と交換し再度クリーニングを実行してください。

本装置が未使用の場合でも、1ヶ月に1回。

新品のデータカートリッジをセットする前。

本装置内部のクリーニングブラシにより、自動クリーニング動作が数秒間行われた場合（機械的な動作音が発生します）。

注）機械的な動作音は装置の故障ではありません。

クリーニングの方法

クリーニングカートリッジを使用して、以下の手順でクリーニングをします。

クリーニングカートリッジを本装置のカートリッジ挿入口にセットします。本装置は自動的にカートリッジを引き込み、ローディング後、ヘッドのクリーニングを実施します。

約75秒経過すると、カートリッジ挿入口より、クリーニングカートリッジが排出されます。

クリーニングカートリッジを取り出し、使用回数がかかるようにカートリッジケース内のクリーニングチェック用紙に「レ」を記入しておきます。クリーニングカートリッジは約20回使用できます。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

[動作上の問題]

本製品を接続したらシステムが起動しなくなった

- ・マスター・スレーブの設定は合っていますか？他の機器と重複しないようにしてください。

本製品が認識されない

- ・本製品の電源の状態と接続の状態をもう一度確認してください。
- ・インターフェースケーブルは正しく接続されていますか？

「マイコンピュータ」上にドライブアイコンが表示されない

- ・本製品は、正常に認識された場合でも、マイコンピュータ上にはアイコンが表示されません。実際にドライブがきちんと接続されたかどうか確認したい場合は、デバイスマネージャから確認してください。

テープカートリッジを受け付けけない

- ・いったんVXAテープカートリッジを排出し、本装置とパソコンの電源をOFFにします。10秒ほど待ってから本製品 パソコンの順で電源を入れ、テープカートリッジを挿入します。LEDが通常状態（カートリッジレディの状態）になるかどうか確認してください。もし、状態表示LEDが点灯しなかったら、電源コネクタがきちんと入っているか確認してください。
- ・ドライブがセルフテストに成功し、通常状態（カートリッジなしのレディ）のLEDが点灯しているにもかかわらず、テープが挿入できない場合はドライブが故障している可能性がありますので、お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

ドライブをリセットする必要がある

- ・電源を一度オフにし、5秒程度置いてから再びオンにしてください。

テープカートリッジを排出できない

- ・イジェクトボタンを押してもテープカートリッジを排出できない場合は、以下の手順をおためしてください。

バックアップソフトウェアがメディアの排出を制御している可能性があります。バックアップソフトウェアのイジェクト機能をお試しください。

バックアップソフトウェアのイジェクト機能を使用しても排出されなかった場合、以下の手順でドライブリセットを行います。



ご注意

この手順は、カートリッジに記録された内容を消去しますのでご了承ください。

ドライブの電源を切り、10分ほど待った後、再び電源をONにします。

ドライブの機能により、リセットする前に自動的にフォーマットリカバリを行います。フォーマットリカバリが終了するまでしばらくお待ちください。

- ・それでも排出されない場合は、カートリッジがドライブに引っかかっている可能性があります。この場合はドライブの修理が必要です。お求めの販売店または巻末の案内に従って修理を依頼してください。

ドライブをスレープに設定して電源を入れたら、アクセスランプがつかっぱなしになる。

- ・マザーボードと同時に接続されているATAPI機器によってまれに上記症状が発生することがあります。この場合は本製品をマスター設定でお使いください。同じIDEケーブルに別の周辺機器が接続されている場合は、その周辺機器の設定はスレープに設定してください。

[読み書きの問題]

状態表示 LED#2 が点滅する

- ・リードエラーが発生した場合、状態表示 LED#2 がオレンジ色に点滅してヘッドクリーニングを要求します。付属のクリーニングカートリッジを使用して、ヘッドのクリーニングを行ってください。それでも解決しない場合は、次の項目をお試しください。

1. テープを一度排出し、再度セットしてみる
2. 新しいクリーニングカートリッジを使ってヘッドクリーニングしてみる
3. 新しいテープを使用して、再度リード・ライトを試してみる

もし上記の項目を試しても問題が解決しない場合は、ドライブが故障している可能性がありますので、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

[テープ自身の問題]

もし、バックアップソフトがテープエラーを報告した場合、下記のいずれかの現象が起きている可能性があります。

1. ドライブのヘッドクリーニングを必要としています。定期的にクリーニングを行っている場合、クリーニングカートリッジが汚れている可能性があります。
2. 使用しているテープカートリッジが、VXAテープカートリッジであることを確認してください。本製品には、VXA規格のテープカートリッジしか使用できません。AIT等、他の規格の8mmテープカートリッジは絶対に使用しないで下さい。
3. テープへの保存を行っている場合、ライトプロテクトをかけていませんか？書き込み防止タグが「REC」(書き込み可能)になっているかどうか確認してください。(書き込み可能状態のテープカートリッジは、プロテクトホールが赤くなっています)
4. VXAテープはきちんとドライブにセットされていますか？いったんテープを排出させ、もう一度セットしてみてください。

上記事項に該当しない場合は、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス： <http://www.logitec.co.jp/>

5.2 オプション品について

変換コネクタ、SCSI ケーブル、テープカートリッジなどが必要な場合はここでご紹介する弊社より発売されているものをお求め下さい。

テープカートリッジ

本製品に使用できるテープカートリッジはVXA規格に対応したもののみ使用できます。

規格	容量
VXA V6	(62m テープ)
VXA V10	(100m テープ)
VXA V17	(170m テープ)
VXA V23	(230m テープ)

型番	内容
LM- V17X 1	VXA 170 m メディア
LM- V17X 5	VXA 170 m メディア 5 本パック
LM- V17X 10	VXA 170 m メディア 10 本パック
LM- V23X 1	VXA- 2 230 m メディア
LM- V23X 5	VXA- 2 230 m メディア 5 本パック
LM- V23X 10	VXA- 2 230 m メディア 10 本パック
LM- VXACL	クリーニングカートリッジ *1

*1 クリーニングカートリッジは 1 本に付き最大20回まで使用可能です。



ご注意

VXA規格に対応したものの以外の8mmテープカートリッジは使用できません。「VXA」とはっきり書いてあるテープカートリッジのみご使用ください。VXA規格に対応していないテープカートリッジを使用すると、故障やデータ破壊の原因となります。この場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご注意ください。

ハードウェア仕様

機種名		LTB - V160GAK	
使用可能メディア		VXA V6 / V10 / V17 / V23	
搭載ドライブ数		1	
インターフェース		ATAPI (Ultra DMA / 66)	
記憶容量		1カートリッジあたり 圧縮時 / 非圧縮時 160 GB / 60 GB (V23) 118 GB / 59 GB (V17) 80 GB / 40 GB (V10) 40 GB / 20 GB (V6)	
転送速度		最大12MB / s (圧縮時) 最大 6MB / s (非圧縮時)	
バッファサイズ		2 MB	
コネクタ 形状		E-IDE 40 ピン	
環境条件	動作時	温度	パソコン本体に準ずる
		相対湿度	30 % ~ 80 % (ただし結露なきこと)
	保管時	温度	- 20 ~ 60
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		5V / 12V	
消費電力 (定格)		9.5 W	
外形寸法 (W x H x D)		149 x 42.5 x 209 mm (突起部を除く)	
質量		約 2.0 kg	

お問い合わせ用紙

送付枚数 (本用紙を含めて)

枚

お問い合わせ製品	ユニット機種名		
	シリアルNo.		
お客様のご氏名			
会社名			
所属部課名			
住所			
電話番号		FAX番号	

ご使用環境を教えてください

PC本体	メーカー		型番	
	CPU		クロック	
IDE製品接続状況 (HDやCD-ROMなども 接続状況を記入)	プライマリ	Master		
		Slave		
	セカンダリ	Master		
		Slave		
OS	Windows XP ・ 2000 ・ NT 4.0			

お問い合わせの前に以下の点をご確認いただき、チェックしてください。

- ・本製品と同じバスに機器が接続されていますか？その機器を外してみましたか？
機器は接続されていない・外した・外していない
- ・機器を外したときも不具合は発生しましたか？(Yes/No)外した機器はなんですか？
起動用以外のHDD ・ 標準搭載のCD-ROM ・ その他()
- ・システムのプロパティ/デバイスマネージャ/ハードディスクコントローラに記載されている名称をすべて答えてください。

本用紙を表紙として、別紙にお問い合わせ内容を添付してください。

- ・不具合が発生している場合の作業状況と、発生までの手順を書いてください。
- ・エラーが発生している場合は、そのエラー内容をすべて書いてください。

保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。（故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック(株) 伊那サービスセンター（3番受入窓口）

保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

サービスをご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

お名前、住所、電話番号

保証書に記載された機種名、シリアルNo.

故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア（なるべく詳しく）

弊社では保証書内に記載されたお客様の個人情報に関しましては修理品管理の目的以外には使用いたしません。

お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。なお、回線が混み合いご迷惑をおかけすることもございますので、そのような時には、FAXまたはお手紙にてお願い致します。その際、上記の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意： 電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号/FAX番号をご記入ください。

お問い合わせ先

ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 03-5326-3667（東京）（祝祭日を除く月～金曜日）
FAX. 0265-74-1456（長野） 9:30～12:00、13:00～17:00

間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitec テープバックアップ装置・ユーザズマニュアル

2003年 5月初版 LTB-V160GAK V01

製造元：ロジテック株式会社



<http://www.logitech.co.jp/>